

翔け！若き消防士たち！

消防学校初任科入校式

津消防タイムズ

第40号



入校式で宣誓文を読み上げる前田消防士

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276

編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

津市消防本部からは 二十二人が入校

平成二十一年四月七日、三重県消防学校（鈴鹿市石薬師町）で第四十六期初任科入校式が行われました。今年度は県内十三消防本部から一〇五人の初任科生が入校し、津市消防本部からは二十二人の新規採用者が消防職員としての第一歩を踏み出しました。

入校式は、各消防本部の消防長、学校教官など関係者が見守る中、厳粛に挙行され、初任科生を代表して、津市消防本部の前田悠輔消防士が少し緊張しながらも力強く宣誓文を読み上げると、松岡康夫校長、江畑賢治三重県副知事、谷口繁喜三重県消防協会会長らが祝辞を述べられました。

初任科生はこれから約六か月の厳しい学校生活が始まります。座学では法令や服務、消防の基本戦術や特殊災害の対応まで幅広く勉強します。また訓練

火災などの
お問い合わせ
224-1881
救急医療情報案内
256-1199



平成21年度新規採用者22人

ではロープ結索やホース延長、資器材取扱訓練に始まり、終盤には想定訓練など実際の災害現場に即した訓練を行い、技術を磨きます。さらに寮生活を共にすることにより、規律やチームワークを大切にすることを養います。

その後、約二か月間の救急課程教育を受け、救急隊員としての知識や技術を身につけ、十二月には各所属に配属されます。

若き二十二人の消防士の今後の活躍に期待しています。（高橋直通）

消防長就任ごあいさつ

津市消防長
中西 秀輝

この度、津市消防長を拝命しました中西でございます。皆様には、日頃から消防行政に御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私、生来からの不器用者ですが、皆様に支えていただきながら、その務めを果たしてまいり決意でございますので、何とぞお引き回しの程お願い申し上げます。

折角の機会でございますので消防長就任に当たって思っていることの一端を申し上げます。ただただいただきます。とは申せ、私はまだ消防長一年生で、大それたことを言うのはおこがましいこととは重々承知してはいますが、皆様に御協力をいただきながら、『非常時に機能し得る組織づくり』ということを目指して日々努力してまいりたいと考えています。

私達の仕事というのは、何か事が起こったときに、いわゆる

火事場で馬鹿力が発揮できるか、あるいは右往左往するかどうかという点でまさに鼎(かなえ)の軽重が問われています。何もないうふうに思いますが、何もないうふうのときに、事務を円滑に流していくということが私達に求められているということでは必ずしもない、ということに考えているわけでございます。そこが他の行政機関の仕事と大いに違うところではないかと思えます。言い古された言い方をしますと、あらゆる事態に対応する消防ということでありますが、率直な感じでは、あらゆる事態というよりも最悪の事態に対応できるか否か、ということではないかと思えます。したがって私達は、とんでもないことが発生したときにどうするのか、どうということが最悪の事態として考えられるのか、そしてそのときにどのように対処すればよいのかということとをいつも考え、その対処方針を明確に頭の中に叩き込んでおくということが必要であるうとうふうの考える次第です。そうすることによって、

日々の業務についても自信を持って遂行できるのではないかと思います。

御案内のとおり、消防行政を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。それだけに私達に寄せる市民の皆様の期待には大なるものがあるうかと思えます。私たち消防本部としましては、こうしたことをしっかりと踏まえながら、三四八人の職員が一丸となってその任務に当たってまいりますので、今後ともより一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げます。消防長就任に当たっての御挨拶とさせていただきます。

津市長特別点検を実施

去る四月十七日、メッセウイングみえ屋外展示場(津市北河路町)で消防職員一七四人が松田直久津市長の特別点検を受けました。この点検は、平成二十一年四月一日付けの人事異動による中西消防長以下津市

消防本部の新体制発足に伴い、厳正な規律をもって、諸活動に斉一を期し、住民のニーズに的確、迅速に対応していくことを目的に点検者である津市長をはじめ、小河俊昭副市長、中西消防長等が随行して行われたもので、津市消防音楽隊の儀礼曲に合わせ、厳正な雰囲気の中、一糸乱れぬ規律ある行動が展開されました。

この点検の後、津市長から「市民の安心と安全の実現のため、個人のみならず、組織的に進化を遂げるように」との訓示を受け、消防長を頂点にした職員の能力と組織力の向上に向けた、たゆまぬ努力を新緑の中で誓い合いました。(平子泰史)



点検を行う松田直久市長

榊原桜まつりを開催

四月四日、榊原町ふれあいの里「湯の瀬」で榊原桜まつりが開催されました。当日は少し肌寒いにもかかわらず、花曇りのなか大勢の人が集まり、和太鼓、よさこいソーラン、丸太切り体験などを楽しんでいました。

まつり中盤では津市消防本部の消防音楽隊が「演歌メドレー」や「崖の上のポニョ」など五曲を演奏し、祭りを盛り上げ、会場の観客からは大きな拍手が送られました。

また、演奏後、音楽隊員が住宅用火災警報器の設置方法や重要性について説明を行い、火災を未然に防ぎ、より多くの御家庭に設置していただくよう呼びかけを行いました。(高橋直通)



演奏する消防本部音楽隊

北署大里地区防火診断**火災から地域を守れ**

北消防署北署では、五月九、十日に住宅防火推進のため、大里西睦合地区の一般家庭を対象に、防火診断を実施しました。

残念ながらこの地区において本年三月末に住宅火災により、死者一人が発生したため、今回各家庭における「火気の使用状況」「防火に関する日頃からの心掛け」の項目を診断し、防火を呼びかけました。

また、平成二十年六月に法令により設置が義務づけられた住宅用火災警報器のサンプルを紹介し、その特徴や必要性を強く呼びかけ、配属された新人署員は「このような地道な予防活動を展開し、少しでも多くの尊い命を火災から守り、今後も継続して実施していきたい」と述べていました。(横山博)

危険物取扱者試験予備講習会を開催

五月八日に三重県総合文化センター内生涯学習センターで乙種第四類(引火性液体)

危険物取扱者試験の予備講習会が行われました。津市消防本部では、毎年試験の一月前日に直前対策として、危険物取扱者試験を受験される方を対象に講習会を実施しています。

当日、会場には一〇一人の方が朝九時から夕方四時四十五分まで、六月に行われる試験に向けて受講しました。(田村公一)



真剣に講習を受ける受講生たち

北消防署合同硫化水素中毒対応訓練

硫化水素中毒による自殺者や異臭騒ぎが相次ぐ中、北消防署北署、河芸分署、芸濃分署は合同で硫化水素発生を想定した救助訓練を実施しました。

訓練は、警戒区域の設定方法や毒ガスから身を守る化学防護服を装着しての救出要領、硫化

水素の濃度測定、汚染された防護服の洗浄要領など

化学物質に対する知識、技術など隊員の安全管理、現場指揮について再確認しました。

参加した署員たちは緊迫感に満ちた表情で訓練に汗を流し、「実災害に向けてより一層体制の強化に努めたい」と述べていました。(横山博)



訓練に励む北消防署署員たち

津市久居消防団春季訓練

四月十二日、津市立榊原小学校で、津市久居消防団、春季訓練が行われました。同消防団は田中征宏団長以下二七八人の団員で構成されており、士気は非常に高く、市民

の生命、財産を守るべく日々訓練に励んでいます。

当日の訓練は、新任団員二十七人に田中団長から辞令が交付されました。その後、一分団から集まった約一〇〇人の消防団員が約二時間訓練礼式に励み、諸制式に習熟し、規律ある訓練を行いました。新任団員も先輩団員の指導の下、少し緊張しながらも消防団員になった喜びと地域を守るといった使命感にあふれていました。(松本淳)



辞令を受ける新任消防団員



訓練を行う消防団員

香良洲中学校で応急手当講習会を開催

四月十五日、津市香良洲町の香海中学校(松野吉富校長)で、教員八人を対象に応急手当講習を実施しました。

津市消防本部管内の中学校で

もAED(自動体外式除細動器)の使用により、心肺が蘇生したという事例が報告されており、AEDの有効性が認識されつつあります。

講習は二班に分かれて約一時間ずつのAEDを使用した心肺蘇生法などを学びました。

教員たちは中消防署香良洲分遣所職員の指導のもと、いざという時に活用できるように真剣に取り組んでいました。(宮田憲一)



心肺蘇生法を行う中学校教員



なくせ住宅火災! 目に見えないファインプレー

住宅火災での死者のうち約六割が逃げ遅れによるものです。

その逃げ遅れを減らす対策として効果があるのが住宅用火災警報器です。津市では、新築住宅は平成十八年六月から、既存住宅は平成二十年六月から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。津市消防本部管内では、この一年間だけでも、住宅用火災警報器が作動し、大事に至らなかつた事例が二件ありました。

火災が発生し、燃える建物に消防隊員が進出し、逃げ遅れた人を救出する場合もあれば、住宅用火災警報器の警報音に住民や付近の方が気づき、自力で避難する事ができた、又は、小さな火のうちに消火器等で初期消火を行い、何事も無かつたかのようになる場合もあります。

消防隊が出動して、逃げ遅れた人を救出してくる事が、目に見えるファインプレーだとすれば、予防啓発を行い、住宅用火災警報器のおかげで人命や財

産が助かることは、目に見えないファインプレーではないかと思えます。

津市消防本部予防課のアンケート調査では、住宅用火災警報器の普及率は約五十七%とまだまだ低く、もっと市民の方に火災の怖さ、住宅用火災警報器の重要性を理解していただき、火災による逃げ遅れを減らし、火災を発生させないように努めていきたいです。

小さな住宅用火災警報器は、あなたと、その家族を「目に見えないファインプレー」で守ってくれます。(田村公一)



救助技術指導会訓練始まる！ 障害突破チーム



平成二十一年七月三十日に行われる消防救助技術東海地区指導会に出場する障害突破チームとロープブリッジ救出チームを紹介いたします。

障害突破チーム

障害突破とは五人一組で行われ、五つの障害（高塀・はしご・ロープ渡過・緊急脱出・煙道）を協力して突破し、タイムと確実性を競う競技です。その隊員たちの取り組みや熱い気持ちを紹介します。

一番員 山本直紀（二三歳）

全国大会の八月二十日まで訓練が続けられるように、強い気持ちで頑張ります。

二番員 中嶋勇輔（二七歳）

障害突破一年目ですが、がむしゃらに練習し、全国大会出場を目指します。

三番員 岡田昌成（二八歳）

今年がラストチャンスと思い、悔いがないように完全燃焼します。行くぞ全国！

四番員 内藤貴人（二五歳）

与えていただいた環境に感謝し、結果で恩返しをできるように頑張ります。

頑張れ！若き精鋭たち！

ロープブリッジ救出チーム



五番員 前野雄一（三十歳）

障害突破訓練を通じて、技術、体力、精神力の向上に努めます。

ロープブリッジ

救出チーム

ロープブリッジ救出は四人一組（要救助者を含む）で対面する塔上にロープ渡過進入し、要救助者を救出後、脱出するまでのタイムと確実性を競う競技です。ロープを渡るスピード感と要救助者を引っ張る力強さの非常に迫力ある競技です。その隊員たちの取り組みや熱い気持ちを紹介します。

妹尾典宏（三一歳）

津市の安全、安心を守るため、日々訓練に精進します。

野呂佳宏（二六歳）

訓練を通し、知識、技術、体力を向上させ、すぐにも現場で活かしたいです。

上田隆広（二四歳）

訓練を通し、救助技術のスキルアップにつなげたいと思います。

鳥井優作（二三歳）

心、技、体を鍛え、自分の成長につなげたいです。

消防本部人事異動

【四月一日付異動】

局長級

消防長（防災危機管理室長）中西秀輝

部次長級

北消防署長（情報管理担当参事兼通信指令課長兼調整・情報管理担当主幹）坂井久義 久居消防署長（調査担当参事兼消防救急課長）橋本宏 調査担当参事兼消防救急課長（中消防署副署長）蒔田幸弘 情報管理担当参事兼通信指令課長兼調整・情報管理担当主幹（久居消防署副署長）小倉克仁 課長級等

消防救急課消防担当副参事兼調整担当主幹（中消防署消防・指揮担当副参事）岩中聡 中消防署副署長（北消防署河芸分署長）小宮貞則 同署消防・指揮担当副参事（白山消防署消防・指揮担当副参事）澤井忠臣 同署西分署長（北消防署芸濃分署長）上杉初男 同署南分署長（中消防署庶務予防担当副参事兼調整・庶務予防担当主幹）東海千秋 消防総務課経理担当副参事兼経理担当主幹（予防課危険物担当主幹）小津直久 中消防署庶務予防担当副参事兼調整・庶務予防担当主幹（久居消防署久居署指揮司令）高土正次 北消防署河芸分署長（予防課指導担当主幹）正岡隆文 同署芸濃分署長（久居消防署久居署指揮司令）高山明

白山消防署消防・指揮担当副参事（消防救急課消防団担当主幹）竹村義明 同署美杉分署長（白山消防署白山署指揮司令）倉田大作 中消防署美里分署所長（中消防署香良洲分署所長）奥山隆一 同署安濃分署所長（予防課調整・予防担当主幹）鈴木幸男 同署香良洲分署所長（通信指令課通信指令担当主幹）世古吉正

カメラアングル

久居署で四月十六日に行われた中国人研修生のための防火訓練



四月十七日に行われた三重県図上訓練



4月6日、交通安全キャンペーンのパレードに津市消防音楽隊も参加しました。

主な行事予定

- 五月三十一日（日）津市水防訓練（雲出川河川敷）
六月二日（火）津・松阪消防合同水難救助訓練（雲出川河口）
六月十四日（日）消防団中勢支会夏期訓練（メッセウイングみえ）
六月二十八日（日）上級救命講習（北部市民センター）
六月二十九日（月）津市婦人防火推進委員会（リージョンプラザ健康教室）
七月七（火）〜九日（木）防火管理者講習会（三重県総合文化センター・多目的ホール）
七月三十日（木）第三十八回消防救助技術東海地区指導会（三重県消防学校）
八月三十日（日）津市防災訓練（場所未定）

ご家庭に住宅火災警報器を設置しましょう！

消防法の一部改正及び火災予防条例の改正により、平成20年6月から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



Table with disaster statistics: 火災 37件(48件), 救急 3,788件(3,879件), 救助 60件(51件). Includes note: ()内は前年同期

編集後記

メキシコで新型インフルエンザが発生し、多くの人が感染し、世界中に広がっています。日本国内においても感染者が発生しており、大流行が危くされています。かつてスペイン風邪と呼ばれるインフルエンザが大流行し、世界中で数千万人の死者が発生しました。今回もそのようなことになるのか？現代は情報網が発達し、危機管理がしっかりと整備されており、さらにタミフルなどの特效薬も開発されています。しかし、大切なことは個々に感染を予防することです。外から帰ったら手洗い、うがいを必ずする。食事、睡眠をしっかりととり、体力をつける。これは今も昔も変わりなく、自身や家族を守るために気をつけたいですね。（高橋直通）

消防タイムズは、身近な消防・読みやすいニュースをテーマに、紙面を増やしました。より充実した紙面を制作するため、今年度から季刊誌化となりましたので、御理解いただきませう。今後とも御愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。次回発行は九月を予定しています。（消防タイムズ編集チーム一同）